

事業所名 認知症対応型ふたばデイサービスセンター

令和5年度第2回運営推進会議開催報告書

開催日時	令和6年2月14日	14:00~15:00
場所	高齢者総合福祉施設ウィローふたば内会議室	
参加者		議題
利用者	0名	1. 運営方針について
利用者家族	1名	2. 認知症対応型デイサービスとは
地域住民の代表者	2名	3. ふたばデイサービスセンターについて
市職員	1名	4. 一日の流れ
地域包括支援センター	1名	5. 今年度の取り組み
事業所	3名	6. ご利用者の様子
		7. ご意見、ご感想
会議録		
1. 運営方針について		
2. 認知症対応型デイサービスとは		
3. ふたばデイサービスについて		
4. 一日の流れ		
5. 今年度の取り組み		
6. ご利用者の様子		
※1~6 配布資料にて説明		
7. ご意見、ご感想、質問		
(1) ご意見、ご感想		
・近所にも軽い認知症だと思われる方がいて話す機会がある。本日デイサービスでの取り組みを見て安心する声かけをすることが大切だと思った。(地域民生委員)		
・夕方からせん妄状態でソファの上に乗って手を伸ばして洗濯物を干そうとする等、思いもよらない行動をするため目が離せない。優しい声掛けをしてもなかなか聞いてもらえず、ついつい大きい声が出てしまうこともある。夜出て行こうとして、行動を制止するとますます怒ってしまう。そういった時に頼れる人がおらず、夜中なのでどこに電話をして助けを求めているのか分からない。(利用者家族)		
・色々な所の運営推進会議に出席しているが、家族連絡会に力を入れ始めたという所はあまり聞いたことがなかったので、認知症カフェみたいで家族が集まって話し合えるのはいい取り組みだと思います。(地域包括支援センター)		

- 一緒に住んでいない母が認知症になり時々様子を見に行く。母の面倒を見て
いる家族が認知症のある母に対しての声掛けがとてつきつい。今日の意見を
聞いて一緒に住んでずっと目が離せない状態だと、声を荒げてしまう状態に
なってしまふこともあるのだと思った。(町内会代表)

(2) 質問

①事故報告はどのようなものがあるか。(瀬戸市高齢福祉課)

→転倒事故が多い。

- 立ち上がって方向を変えようとする時
- 意識消失し転倒
- 椅子に座り損ねて転倒

大事には至ってないが転倒事故が多い。その都度対策を立てながら対応
しているが、他の方に付き添っている時もあり、なかなか防ぎきれないの
が現状です。

②コロナ感染など感染症が蔓延することはなかったか。(瀬戸市高齢福祉課)

→コロナなどの感染が蔓延することはなかった。

感染症対策はコロナが5類になった以降も行っている。

介護者がコロナなどの感染症に罹患したときは、本人の体調をみて受け
入れ1日3回の体温測定、健康観察を実施している。

次回開催日 令和6年8月頃を予定

議事録作成者 青山麻希